

さくらの花だより

豊中市教育委員会
学校教育課計画係
令和4年(2022年)6月
NO. 8

3小学校合同修学旅行行われる

庄内さくら学園の開校準備の一環として、6月9日(水)から10日(金)にかけて、3小(島田小・庄内小・野田小)合同による広島修学旅行が行われました。子どもたちが考えた修学旅行のスローガンは「3校で心一つに絆を深め、平和と協力を学び、笑顔が絶えない最高の修学旅行にしようぜ!」。

準備段階から3校合同の学年集会を重ね、平和学習や係の仕事の確認を重ねた上での本番。初日の朝に新大阪で合流した子どもたちの表情にはワクワクとした期待にあふれていました。11時半過ぎに広島平和記念公園に到着。初夏の日差しのもと、まずは折り鶴の子の像の前で「平和記念集会」。実行委員のリードの下で黙とう、合唱「いのちの歌」、在校生から託された千羽鶴をささげました。昼食の後は、被ばく体験者の方からの聞き取り学習。戦後75年以上を経て、語り部さんたちも高齢化していますが、だからこそ語り継がれることをしっかり受け止める「平和のバトン」の重みが年々増してきました。聞き取り学習を受けての平和記念資料館の見学。コロナ対策のための入場制限もありましたが、子どもたちはリニューアルされた展示に食い入るように見つめ、熱心にメモを取っていました。

そして、広島を離れ、宿泊地である帝釈峡国民休暇村にバスで移動。昼間の暑さと打って変わって、ひんやりとした高原の霧に包まれていました。早速、夕食とお風呂とお土産タイム。お土産タイムでは、子どもたちは家族の顔を思い出しながら、必死で計算に没頭していました。就寝前には、クラスミーティングの時間をとりました。広島で学んだ平和のこと、そしてこれからの自分たちがしなければならないことなど、真剣に仲間と語り合う貴重な時間となりました。子どもたちの真摯な姿からは、これまでの平和学習や語り部さんや平和資料館、そして家族の皆様の支えがあったことを感じさせてくれるものでした。2日目は朝もやに包まれながらのラジオ体操から始まりました。午前中は、3校の子どもたちが入り混じった3つのグループで「絵付け体験」「芝生そりとグランドゴルフ」「ウオークラリー」をローテーションで楽しみました。天気にも恵まれ、あつという間の2日間でしたが、子どもたちの姿は来年度さくら学園で一緒になる不安を一気に吹き飛ばしてくれました。3校のカラーは確かに違いますが、混じり合ってどんな色になるのかを心配するのではなく、子どもたちが一人ひとりのカラーを認め合い、一緒に学校生活を創ってくれることを実感させてくれた修学旅行となりました。



通学路安全対策説明会が開かれました



6月7日(火)に、来春開校する庄内さくら学園の通学路安全対策説明会が開かれました。昨年度より、PTAや子どもの安全見守り隊の方々を中心に、通学路を考えるワークショップが行われ、実際に歩いてみて気になるところについて、交通政策課等に対策に向けての要望をあげていました。その声を受けて、豊中警察等、関係機関と協議を重ね対策案を検討されてきました。この日は、30名をこえる各小学校区のPTA役員や安全見守り隊、地域の方々に参加される中、通学路に関わる安全対策の報告がありました。通学路の安全対策として、特に庄内さくら学園周辺については「新たに信号機を設置する」「グリーンベルトやラバーポールの設置」など、いくつか対策が考えられていました。もちろん、様々な制約もあるので、すべての通学路に対して同じような対策はできるわけではないので、一つひとつできる範囲の中で、今後も継続して対応していく必要があると確認されました。子どもたちには、交通安全の意識を高めていく必要はもちろんですが、一方で大人の交通マナーの向上(特に自転車)も啓発していくことも大切であるとの話が出ていました。今後は、今回の対策を受けて、実際の通学路をどのように設定していくかを各小学校のPTAを中心に検討していくこととなっています。子どもたちの安全・安心を守るために、関係機関が協力して取り組んでいけたらと思います。